

年月日

16

04 05

ページ

04

NO.

薬剤師になろうと思つて。大学受験の直前まで。化学が好きで、手に職をつけ、モノを作ることで人の役に立ちたいと考えていた私は、薬剤師はぴったりの職業だと思っていました。

だが、人生に魔がさす一瞬というのはあることだろうか。ある時ふと思った。「薬剤師になつたら、この先もずっとこんな感じの人生だろうか?」と。その時の私は受験勉強のかたわら、高校の部活での化学実験を最大の楽しみとしていた。清潔で快適な屋内

凛としている

理系女性の挑戦



土木工学選んだこと誇りに

での正確な仕事。先まで見通せるような順調で安定した毎日。ふむ、何か違う展開があつてもいいかも知れない。そして選んだのが土木の道である。これら手に職がつき、モノを作つて多くの人の役に立ち、太陽の下で働く上に、未知の何かにあふれている。素敵な世界が想像通りの世界だつたかと問われれば、半分は「否」と答えた。あれから30年。未歴の男性上司でさえ、現場仕事をしていた時に通りが土木の仕事とは、国土とそこに住む人の生活を守ることなのだ。

しかし、傍から真実が見えにくくても土木の世界は素晴らしい。土木構造物は基本的に「一点物」である。地球上のある一点に、その土地や環境を考慮した最適なただ一つのもの——橋やトンネルやダムや堤防などのインフラを造る。それらは、日光や大気のごとく当たり前のようになつて多くの分岐点で市民工学

くの人に恩恵を与える。自然灾害に対しては、災害という形をしてしまう。時々は叶わないけど。
だから、薬剤師から土木屋への急旋回に周囲は驚愕していたが、本人はいたつて満足で、Y字に分かれた道の方を進んだに過ぎなかつた。

しかしながら、本当にそれが涙が出る。よ」と言われ倒れそうになつたそうだ。笑えは実はインフラを造ることではなくて、國工の世界が想像通りの世界だつたかと問われれば、半分は「否」と答えた。あれから30年。未歴の男性上司でさえ、現場仕事をしていた時に通りが土木の仕事とは、国土とそこに住む人の生活を守ることなのだ。

木工学が市民工学——Civil Engineering——と呼ばれる所以である。木工学が市民工学——Civil Engineering——と呼ばれる所以である。木工学が市民工学——Civil Engineering——と呼ばれる所以である。そこには、そのために、計画を立て、施工して、維持管理していくのは、畏敬すべき自然を相手に、未知があふれた壮大な仕事である。Y字の分岐点で市民工学

国土と住む人の生活を守る

くの人に恩恵を与える。自然灾害に対しては、災害という形をしてしまう。時々は叶わないけど。

を選んだことを誇りに思つてゐる。

企画協力・日本女性技術者フォーラム(WEF)

(火曜日に掲載)

月の泉技術士事務所代表
渡辺 弘子



プロフィール
法政大学工学部土木工学科卒。建設コンサルタント、ゼネコン、公的機関研究所の勤務を経て、02年より現職。東北学院大学非常勤講師、東北大学産学官連携研究員。